

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 3 | P | 芸術 | 美術 | 全 | 必修 | 1 |

講座のねらい

いろいろなものを描いたり、作ったりしながら、造形的な表現の能力を伸ばし、創造の喜びを味わいます。

使用教材及び問題集

教科書「美術2.3上下」 副教材「美術資料」

授業の内容と進め方

絵画 : 自分の顔や名画を注意深く観察し、作品として表現する力を養います。
デザイン : 目的に合わせて素材や技法を選び、自分のアイデアを具体的な形にする力を養います。

講座の到達目標

基本的な技法を体得していく中で、感動したり発見したりしながら、一人一人が自分の持ち味や個性を見だし、それを大切にしながら表現活動することを目指します。

評価の観点・テスト・課題など

授業での作品と定期考査を総合的に評価します。作品内容はもちろんですが、どれだけ意欲的、積極的に授業に取り組んでいるか、という点も評価したいと思います。校外のコンクールの案内もしますので、進んで応募してみましよう。

備考

美術の授業では課題に応じて必要な道具があります。事前に連絡しますので、各自忘れずに持参してください。(持ち物にはすべて名前を書きましょう。)

授業の計画

| |
|---|
| <p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション・鑑賞：教科書の作品を味わう。・絵画：自画像。「自己を見つめて。」・中間考査実施 |
| <p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <ul style="list-style-type: none">・デザイン：ボックスアート・中間考査実施 |
| <p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <ul style="list-style-type: none">・デザイン：ブックカバーをデザインする。 「連続模様（パターン）で構成し、作品を作る」 |